

* 胃がんリスク検査について *

胃がんリスク検査を有効なものにするために

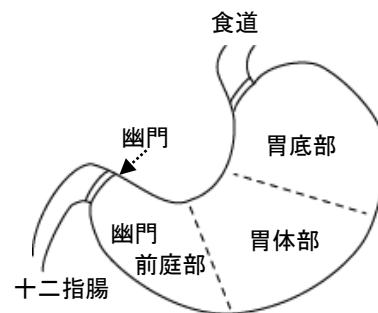


胃がんリスク検査を受診する前に必ずお読みください

胃がんとは

胃がんは、胃壁の最も内側の粘膜内の細胞が、何らかの原因でがん細胞になったものです。

胃がんの発生は、喫煙や食生活などの生活習慣や、幽門部に好んで生息するピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）の持続感染が深くかかわっています。また、ピロリ菌感染によって胃粘膜の萎縮が進むほど、胃がんが発生しやすくなります。



胃がんリスク検査って何？

胃がんリスク検査は、胃がんそのものを見つける検査ではありません。血液検査でピロリ菌感染の有無（ヘリコバクター・ピロリ抗体検査）と、胃粘膜の萎縮度（ペプシノゲン法）を調べ、胃がんになりやすい状態かどうかの危険度をA～Dに分類し判定する検査です。現在研究段階にあり、あくまで「胃がんのなりやすさ」を調べる検査になります。検査結果に基づき適切な対応を行うことで、胃がんの予防・早期発見・早期治療をめざします。

ペプシノゲン

ペプシノゲンとは胃粘膜で作られる物質で、ほとんどは胃の中にありますが、一部は血液中に流れ出します。血液中に流れ出たペプシノゲン量を測ることで、胃がん発生との関連性がある『萎縮性胃炎』の進行度を調べることができます。一般的に、ペプシノゲン量が少ないほど萎縮性胃炎が進行し、胃がんなどの病気を引き起こしやすい状態となります。

ピロリ菌

ピロリ菌とは、胃の中に生息する細菌です。乳幼児期に感染し慢性的に感染が続くことで、胃がんの発生との関わりが強い『萎縮性胃炎』、胃潰瘍・十二指腸潰瘍といった病気が起こりやすいとされています。また、成人してからのピロリ菌の慢性的な感染はほとんどないと言われています。ピロリ菌は、抗生物質などの投与によって除菌治療を行うことも可能です。

ただし、下記の1～5の項目に該当する場合は、検査の結果が正確に出ない・または治療が優先される等の理由により、土浦市胃がんリスク検査の対象外となりますので、ご了承ください。

対象外

1. ピロリ菌の除菌治療を過去に受けたことがある
2. 食道・胃・十二指腸に関する疾患で、経過観察中または治療中である
3. 胃を切除したことがある
4. 腎不全である
5. 逆流性食道炎の治療などで胃酸の分泌を抑える薬（プロトンポンプ阻害薬：タケプロン、パリエット、オメプラール、ネキシウム、タケキャブなど）を検査日の2ヶ月以内に服用している

また、医療機関での問診の結果、土浦市胃がんリスク検査の対象とならない場合もありますのでご了承ください。

令和8年度 胃がんリスク検査協力医療機関

令和8年4月現在

地区	市内			地区	市内			
一中	ウララ胃腸科外科	大和町ウララ2	825-4477	三中	松本内科医院	中村東三丁目	843-1211	
	小原内科医院	中央二丁目	821-1015		山中内科クリニック	中村南五丁目	843-0870	
	きし整形外科・内科	大和町ウララ2	825-5200		四中	岩本クリニック	上高津	826-6360
	桜井内科医院	中央二丁目	821-0356	霞ヶ浦医療センター (予約センター)		下高津二丁目	826-6471	
	しほう医院	穴塚	823-9511	予約受付時間:平日12:30~16:00				
	常陽医院	城北	822-6594	叶多内科医院		桜ヶ丘町	826-1566	
	染谷小児科	大和町ウララ2	825-3121	菊地内科医院		下高津一丁目	821-3770	
	田谷医院	生田町	823-2636	外科・内科 天の橋立		天川二丁目	835-0333	
	中央大形整形形成外科	中央二丁目	821-0220	中高津クリニック		中高津三丁目	824-1212	
	塚田整形外科	桜町三丁目	824-1111	額賀医院		富士崎一丁目	821-5748	
	つちうら東口クリニック	有明町	825-7880	よつばクリニック		国分町	835-3388	
	土浦泌尿器科クリニック	中央一丁目	828-7625	五中		おおつ野こどもクリニック	おおつ野八丁目	828-2580
	鶴町医院	中央一丁目	821-2368			神立病院健診センター	神立中央五丁目	896-6123
	友常クリニック	中央二丁目	824-2718			小林医院	神立中央三丁目	831-6688
	野上病院	東崎町	822-0145		サンルーナ内科・脳 神経内科クリニック	おおつ野二丁目	869-8882	
ゆみこ内科クリニック	田中三丁目	821-1180	日立製作所 土浦診療健診センタ		神立東二丁目	0570-200-500		
淀縄医院	大町	822-5615	六中		石井内科クリニック	右 翔	841-6125	
二中	土浦協同病院附属真鍋診療所	真鍋新町		826-3221	大石内科クリニック	大岩田	835-0014	
三中	荒川沖クリニック	北荒川沖町		841-7755	鳥山診療所	鳥山二丁目	843-0331	
	荒川沖診療所	荒川沖	843-0859	土浦ベリルクリニック	都和四丁目	835-3002		
	かすみファミリークリニック	乙戸	828-8093	都和	来栖医院	藤 沢	862-5188	
	木戸医院	乙戸南三丁目	841-1753		新治診療所	下坂田	862-4668	
	県南病院	中	841-1148	新治	宮崎クリニック	藤 沢	830-6800	
	鈴木クリニック	中荒川沖町	841-7711		市外	川島医院	かすみがうら市	897-1237
	高野医院	荒川沖西二丁目	841-0154					
東郷クリニック	荒川沖東三丁目	843-7770						

★受診の際には希望する医療機関に確認のうえ、受診券、保険証をお持ちになってお出かけください。

○結果について○

胃がんリスク検査を受診した医療機関から結果の説明があります。

精密検査が必要「B」「C」「D」と判定されたら

必ず精密検査を受けましょう

ピロリ菌の感染（またはかつての感染）や胃粘膜の萎縮がある「B～D」の方には、精密検査（胃内視鏡検査＝胃カメラ）を受けていただき、その後の対応について医師と相談してください。
*ご不明な点は、医療機関にお問い合わせください。

「A」と判定されても

自覚症状があれば早めに受診をしましょう

「A」の方は、胃がんになる危険度が極めて低いため、精密検査は必要ありません。ただし、どんなに優れた検査であっても100%の精度ではありません。何らかの自覚症状に気づいた場合には、速やかに医療機関を受診してください。

ピロリ菌除菌後も

胃がん発生リスクは低下しますが、胃がんになる可能性はあります。除菌成功後の胃がんリスク検査は、ペプシノゲン値の変化により正確な判定ができないため、定期的な内視鏡検査により経過観察を行ってください。

【問合せ先】 土浦市健康増進課（土浦市保健センター内） TEL029（826）3471